

草津市(近畿ブロック)

【計画期間 25年11月～31年3月】

江戸～: 古くからの交通の要衝にあり、東海道・中山道の分岐・合流する宿場町として発展。琵琶湖岸には、複数の港が存在し、湖上交通の拠点としての機能も有していた。
 明治～: 東海道線と草津線の分岐駅として、草津駅が開業。その後、国道や名神高速道路、新名神高速道路などの道路交通網が整備され、交通の要衝としての機能を継承し発展。
 ～現在: 人口約12万7千人。面積約48.22km²(琵琶湖面積除く)。

【中心街地を巡る状況】

- 人口は増加傾向であるが、歩行者通行量は減少傾向であり、中心市街地の持つポテンシャルを活かし切れず、賑わいが喪失している。
- 歩行者通行量の減少に伴い、店舗数、売上額も減少し、空き店舗、低未利用地が増加している。
- 大型商業施設が郊外に進出したことで、中心市街地の商業機能は急速に低下している。

○中心市街地の歩行者通行量(平日)
 H18:12,529人 ⇒ H24:11,067人(▲11.6%)

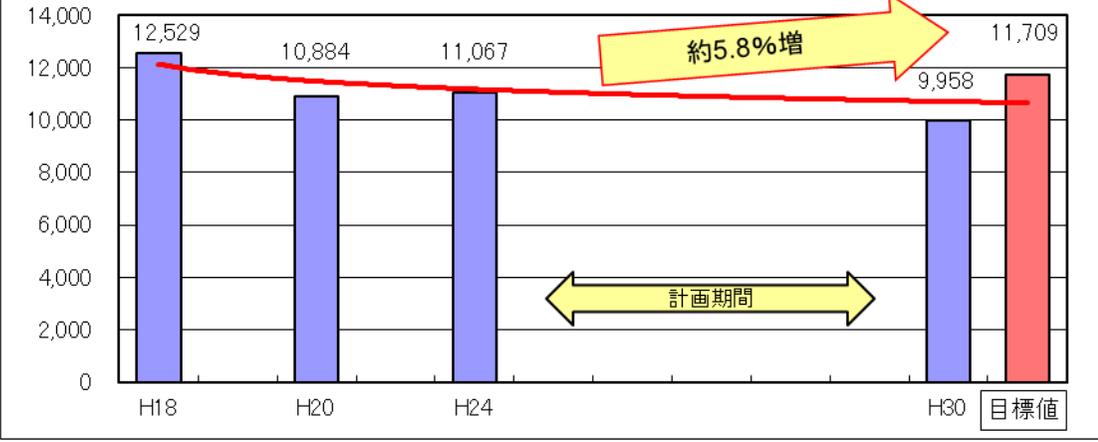


【目指す中心市街地像】

- “元気”と“うるおい”のある生活交流都市の創造。
(活力・にぎわい) (歴史文化・緑) (暮らし・コミュニティ)
- 3つのエリア(本陣周辺、駅東、駅西)と2つの軸(草津川跡地軸、歴史街道軸)の個性を活かし連携を図る。

目標	指標	現況値	目標値(H30)
歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者通行量(平日)	11,067人(H24)	11,709人
個性的で魅力のある店舗が集積するまち	空き店舗率	10.4%(H24)	9.5%
幅広い世代が交流するまち	福祉・文化・交流施設の利用者数(平日・休日)	448,760人(H23)	538,512人

【歩行者通行量の推移と数値目標】



歩いて楽しい回遊性の高いまち

- 【主要事業】
- ・草津川跡地賑わい空間整備事業
 - ・北中西・栄町地区市街地再開発事業
 - ・草津宿場まつり
- など

個性的で魅力のある店舗が集積するまち

- 【主要事業】
- ・アニマート跡地賑わい空間整備事業
 - ・商店街ガーデンストリート事業
 - ・商店街テナントミックス事業
- など

幅広い世代が交流するまち

- 【主要事業】
- ・市民総合交流センター整備事業
 - ・野村スポーツゾーン整備事業
- など

草津市中心市街地活性化基本計画の事業概要

歩いて楽しい回遊性の高いまち

①草津川跡地賑わい空間整備事業

草津川跡地を、「ガーデンミュージアム」をコンセプトとして、質の高い緑による美しい空間、商業テナントミックス、市民活動の舞台、として整備することで、新たな回遊拠点として、賑わいの創出、交流人口の増加を図る。



②北中西・栄町地区市街地再開発事業

駅前における密集市街地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。
また、「賑わいプロムナード」として、子育て、高齢者サポート機能、既存商店の商業形態の充実を図ることで都市機能の集約と来街者の増加を図る。



③草津宿場まつり

街道文化の薫る「宿場町草津」の地域資源を活かして、草津宿本陣を中心に市民参加による「草津時代行列」を始めとした、市民・行政等一体となって取り組む春の一大イベントであり、中心市街地の魅力向上と市民の交流、来街者の増加を図る。



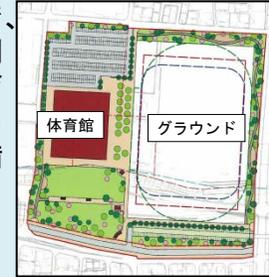
幅広い世代が交流するまち

⑦市民総合交流センター整備事業

大規模未利用地を活用し、老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、「子育て支援機能」、「多世代交流機能」、「商業・業務機能」、「複合的コミュニティ形成機能」を持った複合施設を整備し、交流人口の増加を図るとともに、賑わいを創出する。

⑧野村スポーツゾーン整備事業

プロスポーツの試合や各種イベントの開催など、多用途に利用できる体育施設を整備するとともに、子どもから大人まで、誰もが気軽に利用し、交流を育むことができる公園として整備する。



個性的で魅力のある店舗が集積するまち

④アニメイト跡地賑わい空間整備事業

JR草津駅前の低未利用地を市の“新しい顔”となるような魅力空間として整備活用する。
ガーデニングを施した緑化広場と民間によるテナントミックスを複合的に整備するとともに、賑わ

いイベントの開催や情報発信を行う新たな回遊拠点として整備することで、賑わいの創出、交流人口の増加を図る。



⑤商店街ガーデンストリート事業

草津川跡地の整備方針である「ガーデンミュージアム」というコンセプトをまちなかに広げ、商店街を含めた通りをガーデニングで彩り、買い物空間の高質化を図る。

⑥商店街テナントミックス事業

顧客ニーズや利用者等から必要な商業機能を分析し、空き店舗によるテナントミックス事業を戦略的に実施することで、魅力ある店舗の集積を図る。